

2014年2月20日

**～東日本大震災から3年前に、家庭での節電対策は?!～
住まいの節電対策に関する調査報告**株式会社LIXIL住宅研究所
アイフルホームカンパニー

株式会社LIXIL住宅研究所 アイフルホームカンパニー(住所:東京都江東区亀戸 1-5-7/プレジデント:今 城幸)では、東日本大震災から3年前に、家庭での節電対策の現状や消費税増税における節電意識などについて、既婚女性の方7,500名に調査を実施しましたので、ご報告します。

I. 調査結果の概要

東日本大震災の後、自宅でなんらかの節電対策を行っていた方が73.1%。震災から3年前に、現状でも節電対策を継続しているとの回答が99.5%に達しました。継続している理由は、震災後の節電要因の一つであった「供給電力不足に対応するため」は17.9%に止まり、「もったいないから」(73.1%)「光熱費のコストダウン」(69.5%)が上位となっています。一方、4月の消費税増税を機に「節電対策を強化する」が30.3%、「現状の節電対策を継続」が69.1%となっています。

1) 東日本大震災から3年前にした節電状況**【東日本大震災後、自宅ではなんらかの節電対策を行っていましたか?】**

- 「震災以前から実施していた節電対策を継続した」(30.9%)
- 「震災を機に節電対策を強化した」(18.7%)
- 「震災を機に節電対策をはじめた」(23.4%)

【現在も、自宅ではなんらかの節電対策を継続していますか?】

- 「継続していない」(0.5%)
- 「継続している」(99.5%)

【現在も、自宅で継続している節電対策は?】

- 「無駄な照明はできるだけ消す」(87.7%)
- 「夏場のエアコン設定温度は28℃を目安にする」(57.8%)
- 「冬場の室内温度は20℃を目安にする」(45.3%)
- 「長時間不在の場合、トイレの暖房便座や温水のスイッチを切る」(45.1%)
- 「テレビなどの家電製品は不要な時にコンセントから抜く/待機電力削減」(43.2%)

2) 自宅で節電を継続している理由**【節電対策を継続している理由は?】**

- 「無駄な電力使用はもったいないから」(73.1%)
 - 「自宅の光熱費のコストダウンのため」(69.5%)
 - 「節電生活が定着しているから」(43.9%)
- ⇒ 震災後の節電要因の一つであった「供給電力不足に対応するため」は17.9%に止まる。

3) 4月の消費税増税を機にした自宅での節電意識**【4月からの消費税増税を機に、あなたのご自宅の節電対策は?】**

- 「現状の節電対策をさらに強化したいと思う」(30.3%)
- 「現状の節電対策を継続したいと思う」(69.1%)

【報道関係者のお問合せ先】

株LIXIL住宅研究所 広報・宣伝部 担当:千明(ちぎら)
電話:03-5626-8251 メール:chigirak3@lixil-jk.co.jp
アイフルホームホームページ/TOP URL:<http://www.eyefulhome.jp/>

本ニュースリリースは、本日、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にて、広報発表しています。

II. 調査データ

1) 東日本大震災発生後のなんらかの節電対策を行っていた家庭が73.1%

東日本大震災を機に、あなたのご自宅ではなんらかの節電対策を実施しましたか？との質問に、「震災以前から実施していた節電対策を継続した」が最も多く30.9%、「震災を機に節電対策を強化した」が18.7%、「震災を機に節電対策をはじめた」が23.4%となりました。一方、「実施しなかった」との回答は27.0%となっています。

Q1. 東日本大震災を機に、あなたのご自宅ではなんらかの節電対策を実施しましたか？

	実数	比率
震災以前から実施していた節電対策を継続した	2,320	30.9%
震災以前から節電対策を実施していたが、さらに増やした	1,402	18.7%
震災を機に節電対策をはじめた	1,758	23.4%
実施しなかった	2,020	27.0%
合計	7,500	100%

2) 震災からあと少しで3年。現在も自宅での節電対策を継続している方が99.5%

東日本大震災の後、節電対策を実施していた5,480名の方に、現在もご自宅でなんらかの節電対策を行っているか質問したところ、「継続していない」との回答はわずか0.5%に止まり、99.5%の方が継続していることが判明しました。

Q2. 現在もご自宅でなんらかの節電対策を継続していますか？

	実数	比率
現在も節電対策を継続している	5,453	99.5%
節電対策は継続していない	27	0.5%
合計	5,480	100%

※Q1. で「震災以前から実施していた節電対策を継続した」「震災以前から節電対策を実施しているが、さらに増やした」「震災を機に節電対策をはじめた」を回答した5,480名に質問

3) 継続している節電対策は、「無駄な照明はできるだけ消す」87.7%

現在も節電対策を継続している5,453名の方に、継続している節電対策を複数回答で質問したところ、「無駄な照明はできるだけ消す」が87.7%でトップとなりました。2位が「夏場のエアコン設定温度は28℃を目安にする」(57.8%)、3位が「冬場の室内温度は20℃を目安にする」(45.3%)と室温調整による節電が上位となっています。

Q3. あなたのご自宅で現在も継続している節電対策は？(複数回答) N=5,453

	実数	比率
無駄な照明はできるだけ消す	4,780	87.7%
夏場のエアコン設定温度は28℃を目安にする	3,151	57.8%
冬場の室内温度は20℃を目安にする	2,471	45.3%
長時間不在の場合、トイレの暖房便座や温水のスイッチを切る	2,459	45.1%
テレビなどの家電製品は不要な時にコンセントから抜く/待機電力削減	2,356	43.2%
冷蔵庫の庫内設置温度を季節によって調整する	2,327	42.7%
夏場の日差しを和らげるため、すだれや緑(植物)のカーテンを使用	2,137	39.2%
冬場、電気カーペットや床暖房の設定温度を低くする	2,057	37.7%
夏場、消費電力の多い家電製品は午後2時前後での使用は控える	849	15.6%
その他	152	2.8%

※Q2. で「現在も節電対策を継続している」を回答した5,453名に質問

4)節電対策を継続している理由は、「電力がもったいない」と「光熱費コストダウン」

現在も節電対策を継続している5,453名の方に、継続している理由を複数回答で質問したところ、「無駄な電力使用はもったいないから」が73.1%でトップ。2位が「自宅の光熱費のコストダウンのため」(69.5%)となりました。続いて「節電生活が定着しているから」との回答も43.9%に達しています。一方、東日本大震災を機にした節電要因の一つであった「供給電力不足に対応するため」との回答は17.9%に止まっています。

Q4. 現在もあなたのご自宅で節電対策を継続している理由 複数回答 N=5,453

	実数	比率
無駄な電力使用はもったいないから	3,987	73.1%
自宅の光熱費のコストダウンのため	3,788	69.5%
節電生活が定着しているから	2,395	43.9%
供給電力不足に対応するため	976	17.9%
その他	27	0.5%

※Q2. で「現在も節電対策を継続している」を回答した5,453名に質問

5)4月からの消費税増税を機に、節電対策を強化したい方が30.3%

現在も節電対策を継続している5,453名の方に、4月からの消費税増税を機にしての節電対策を質問したところ、「現状の節電対策をさらに強化したいと思う」が30.3%。「現状の節電対策を継続したいと思う」が69.0%となりました。

Q5. 4月からの消費税増税を機に、あなたのご自宅の節電対策は？

	実数	比率
現状の節電対策をさらに強化したいと思う	1,650	30.3%
現状の節電対策を継続したいと思う	3,767	69.0%
その他	36	0.7%
合計	5,453	100%

※Q2. で「現在も節電対策を継続している」を回答した5,453名に質問

Ⅲ. 調査概要

・対象者 全国の既婚女性

20代	30代	40代	50代	60代	全体
1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500

・調査地域

北海道	東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国地方	四国地方	九州地方	全体
413	378	2,960	1,133	1,474	367	192	583	7,500
5.5%	5.0%	39.5%	15.1%	19.7%	4.9%	2.6%	7.8%	100%

・居住形態

一戸建て (持ち家)	一戸建て (賃貸)	マンション (持ち家)	マンション (賃貸)	アパート	その他	全体
3,707	273	1,328	1,207	838	147	7,500
49.4%	3.6%	17.7%	16.1%	11.2%	2.0%	100%

・調査時期 2014年1月下旬

・調査方法 インターネットを通じてのWEB調査

【報道関係者のお問合せ先】

(株)LIXIL住宅研究所 広報・宣伝部 担当:千明

電話:03-5626-8251 メール:chigirak3@lixil-jk.co.jp

アイフルホームホームページ/TOP URL:<http://www.eyefulhome.jp/>